

心と体をリラックス！！第10回親子短期保養プログラム

2016年6月9日

2011年3月11日の東日本大震災、そして福島原発事故からまもなく5年3ヶ月が過ぎました。「もう5年」、「まだ5年」と言われています。国や行政による「避難指示解除」が急加速されています。「オリンピック」という花火演出をしたいがためであるかのように。

しかし、現実には住み慣れた故郷に帰ることもできない方、大きな不安を抱えながら留まり続けなければならない方、これから起こってくるであろうさまざまなことを考え、押しつぶされそうになっている方、どれほど多くの方が心と体に疲れを覚えていることでしょうか。

そのような方々が少しでも放射線被ばくの心配から離れて過ごすことができるように、そして、心も体もリフレッシュしていただける機会になればと願い、短期の保養ですが実施してきました。今回も日本基督教団北海教区東日本大震災支援委員会が受け入れてくださいます。

このプログラムは被災地に開かれたものです。教会が主催しますが、どなたでも参加できます。

《 募 集 要 項 》

- 期 日** 2016年8月1日(月)～8月6日(土)
- 費 用** 期間中の交通・食事・宿泊費などの必要経費は原則主催者が負担します。
フリータイム時の食事・交通費はご負担願います。
- 宿 泊** 清水町農業研修会館、ホテル「鶴雅」、北海道クリスチャンセンター
(いずれも北海道内・相部屋になる可能性もあります)
- 募集人数** 親子9組 20名 (原則として小学生以上の子ども。前後する場合はご相談下さい。)
- 参加資格** 地震・津波・原子力災害が及んだ被災地在住、もしくは、避難者の親子(保護者と子ども)
- 引 率** 布田秀治(いずみ愛泉教会牧師、『いずみ』運営委員長) 電話・FAX 022-372-1712

プログラム予定 (天候などにより変更になる可能性があります)

- 8月1日(月) 仙台空港11時45分ANA出発ロビー集合。仙台空港発12時50分→新千歳
空港着14時5分。バスで清水町農業研修会館へ。歓迎夕食交流会。研修会館泊
- 2日(火) エテケカンパの会(帯広)と交流。緑ヶ丘公園。 研修会館泊
- 3日(水) 旭山・収穫体験と昼食。パークゴルフ、展望台、果樹園など。 研修会館泊
- 4日(木) 阿寒湖へ移動。そこでは自由行動。 ホテル「鶴雅」泊
- 5日(金) ホテルから札幌へ。自由行動・夕食も。 クリスチャンセンター泊
- 6日(土) わかちあい。札幌から新千歳へ。昼食各自。集合13時30分。
新千歳空港発14時35分→仙台空港着15時45分。空港で解散。

- 応募方法** 郵便番号、住所、電話(含：緊急連絡先)、年齢(生年月日)、氏名(ふりがな)、応募理由を明記して、メール、Faxまたは郵送にて「いずみ」へご応募ください。
- 申込締切** 6月30日まで必着。定員を超えた場合締切期限にかかわらず、募集を締切ることがあります(「いずみ」HP上にてお知らせします)。原則として初めての参加者を優先しますが、定員に満たない場合はリピーターのご応募も受付けます。
- 参加決定** 締切後、事務局で選考。選考された方には後刻必要な詳細を連絡いたします。

お問合わせ・申込み先 〒980-0012 仙台市青葉区錦町1丁目13-6

電話・FAX 022(796)5272 Eメール izumi@tohoku.uccj.jp

日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ 親子短期保養係

- 主 催** 日本基督教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ、北日本宣教会議実行委員会・
委員長 布田秀治 委員：小西望、邑原宗男、松浦裕介、久世そらち、日向恭司
- 協 賛** 北海教区東日本大震災支援委員会、北海教区道東地区